

【提出様式】 令和5年度 豊島区立学校 学校評価 自己評価表

豊島区立巣鴨小学校

評価対象者数 (人)			
児童・生徒数	保護者数	教職員数	地域の方
310	263	15	50

領域	豊島区教育ビジョン 2019 基本方針等	評価番号	評価項目	年間評価																自己評価概要	学校関係者による評価		次年度に向けた改善策
				児童・生徒				保護者				地域				教職員					学校関係者 評価の意見	評価	
				4	3	2	1	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0	4	3				
I	就学前から小学校・中学校への円滑な接続	I-1	I-1 学校は、小中学校への就学時に適応できるように、学校生活の流れ(学習習慣や生活のルール等)を工夫して設定している。	児童・生徒を対象としたアンケート集計表をご参照ください。	64	52	8	1	11	15	5	0	0	2	9	6	0	0	スタートカリキュラムの作成・実施に加え、保育園・幼稚園への校庭開放、職員の情報交換会を開催し、連携を推進した。西巣鴨中学校での6年生の授業体験、生徒会による学校紹介など直接的な交流を行い、進学への不安軽減を図った。	A	6つの保育園の園児の小学校体験や、校庭利用がない時間帯の近隣の保育園への校庭開放は、引き続き行っていく。年に一度「西中を知る会」で6年生が中学校体験を行っているが、回数が少ないので連携できる教科で共に学習を進めていく。また、一・中二小の教員同士の情報交換を、本校の教育活動に生かす。		
			II-1 学校は、体験的な活動や話し合い活動などを通して、問題を解決するような分かりやすい工夫した授業を行っている。		71	55	3	1	6	14	6	0	0	2	12	3	0	0	校内研究で、児童の学びに着目し、児童の主体性を伸ばす学習を目指して、授業改善に取り組んだ。授業で、視覚的に分かりやすくする工夫を教員が進んで取り組んだ。今後は、児童の学びの選択肢の一つとしてICTを選ぶように学習方法の検討も行う必要がある。			A	年度初めに保護者向けに、ICT機器の使い方についての注意喚起を促す手紙を配付し、家庭との連携の下、タブレットの正しい利用の仕方を児童に指導していく。学習ツールの一つとして児童が臨機応変にICT機器を選択・活用できるように、授業計画を考えるとともに、学習内容に合った使い方を提案していく。個別最適な学びの実現に向け、教員の資料や児童の作品、学習の成果をクラウド化し、教材を一元管理する。
II-2 学校は、タブレットやICT機器を活用し、視覚的に分かりやすくなるよう工夫した授業をしている。	69	51	10		2	4	13	7	1	0	1	6	9	0	0	異学年で協力して挨拶運動を行ったり、巣鴨会議でタブレットの決まりを話し合ったりして、規範意識の醸成を図った。人権的な取組として、行事ごとに異学年と交流するとともに、全校で巣鴨つ子のよいところをカードに書いて認め合う「すがもザ・レインボー」を作成し、掲示している。	A	今年度の巣鴨会議で決めたタブレットの決まりを、児童が当事者意識をもって守ることができるよう、日頃から働き掛け、規範意識を高められるようにしていく。互いを尊重し合い、思いやりの心を育むために、全校でお互いのよさを認め合うような掲示物を今後も作成していく。					
III-1 学校は、道徳科を含めた全教育活動を通して、挨拶や礼儀をはじめとした規範意識を育てている。	82	47	5		1	1	10	9	1	0	2	11	4	0	0	短なわ跳びの推奨、持久走期間を実施し、外遊びのきっかけ作りをした。コロナ禍明け、給食の黙食の一部解除など、集団で食べることの楽しさを味わわせたりマナーの向上を図ったりした。昼の放送で給食委員会による献立や食材に関する豆知識の紹介を行い、食への関心を高めている。			A	全校で取り組む体育的な活動を増やし、学校全体で体力向上を目指す。持久走期間を取り入れ、自身の運動技能に適した走り方やスピードを考えての運動を行うことで、今後も自身の体調に応じた運動、運動遊びにつなげる。また、教師が率先して児童と遊ぶことで児童が運動に参加しやすい雰囲気作りを今後も続ける。給食委員会や食育リーダーを中心に食育を徹底していく。			
III-2 学校は、心の教育を大切に、互いを尊重し合う思いやりの心を重点的に指導している。	69	54	6		1	6	16	4	1	0	1	13	2	0	0	学期初めやいじめのアンケートと合わせ個別の全員面談を行い、児童一人一人の気持ちを汲み取り、寄り添うような心掛けた。弁護士によるいじめ防止学習や区局による子どもの権利に関する学習を実施した。毎学期の振り返りをキャリアパスポートに記入し、児童が自らの成長に気付くことができるよう促している。特別な支援が必要な児童には、校内委員会や生活指導夕会などで情報を共有し、チームで対応した。くわのみ教室とも連携を図り、個に応じた指導を行った。	A	学期初めやいじめのアンケートに合わせた個別の全員面談を来年度も実施する。今年度の全員面談では、児童が遊びの中で、どう友達と関わっていけばよいか悩む相談が多かったため、くわのみ教室担任やスクールカウンセラーと連携して、仲良く遊ぶためにどうしたらよいか、児童の理解を深める動画や資料など作成していく。不登校傾向や学習に不安のある児童の保護者に対して、夏休みの面談以外にも、電話で連絡を取ったり、定期的に面談をしたりしながら家庭との連携を充実させる。					
IV-1 学校は、休み時間や体育の時間を中心に身体を動かす時間を十分に確保し、体力向上を推進している。	73	51	9		2	1	12	9	1	0	0	6	9	0	0	・食のバランスが生活を豊かにする指導もお願いします。・献立や食材に関する紹介をすることは、納得できる給食を得られる。・休み時間、放課後、校庭での活動を楽しんでいる児童が多く、喜ばしい光景を目にしています。・巣鴨小へ通って、食べられる食材が増えたという話を聞くので、評価は妥当だと思いました。			A	・児童同士だけでなく、大人のいじめをもなくす取組も期待します。フェイクニュースを信じず、確かめることができな情報は100%信じない構えも御指導願います。・先生と児童間の信頼と情報の交換が大切である。基本的に徹底、話し合いをする。・月一回、校内委員会に参加させてもらい、情報共有する機会も、有意義に感じています。個別に配慮が必要な児童を受け入れている中では、担任の先生との情報交換も希望します。・個々の対応となるため、多くの方に理解してもらおうのは難しいとは思いますが、先生方が子供たちに寄り添う姿をみることで多くなったので、評価は妥当だと思っています。			
IV-2 学校は、健康教育として「お昼の放送(給食の献立の紹介)」や「給食だより」等で「食」への意識や関心を高めている。	98	34	2		1	1	13	8	0	0	1	13	2	0	0	児童の発想や意欲を大切に学習を心掛け、児童の自主性を育てよう努めている。体育的行事や文化的行事、道徳授業地区公開講座等の学校行事ごとのアンケート結果を活用し、運営方法や開催時期の改善など、次年度の教育課程編成に改善を図ることができた。	A	児童がより主体的に学習を進める能力の伸長を図るために、デジタルコンテンツ(なるほど!エージェント)の活用を通して、探究的な学びを展開する。また、起業家教育プログラムを活用し、児童の自発的な考えを生かした取組を行っていく。行事ごとのアンケートでは、共有、分析、改善のスピードを速めていけるようにしていく。					
V-1 学校は、いじめアンケートを年3回以上行い、適切な友人関係の構築やいじめ防止に力を入れている。	61	51	13		1	10	11	8	1	0	2	15	0	0	0	学校ホームページでは、日常の授業風景や行事などを速やかに情報発信を行うことができた。学校公開や学校行事や保護者会では、人数制限をなくし、多くの保護者の方が学校行事に参加していただくことができた。			A	学校のホームページによる情報公開において、学年ごとに回数や内容に偏りがないように、どの学年も適度な発信をしていけるように校務分掌を作り、分担をするようにする。来年度から歯みがき指導も復活する中、感染予防対策を十分に行いながら、児童の健康・安全に対する意識や習慣の向上を図る。			
V-2 学校は、学校行事ごとや節目ごとの振り返りなどを通して、一人一人の児童のよさを伸ばそうとしている。	67	55	6		1	7	16	5	1	0	0	14	1	0	0	・妥当である。・小規模の学校に適した量の、過度すぎない適量の情報発信をお願いします。・いかに情報発信を強くするか、皆で検討すべきである。・学校のHPを開くことが少なかったため、機会を増やし情報キャッチに努めます。・学校のホームページは常に新しい情報が掲載されており、評価は妥当だと思っています。お忙しい中、ありがとうございます。	A	一部の子供だけが発言する授業ではなく、学級全員が自分の考えを伝え合う授業スタイルの確立を目指し、学習形態や指名の仕方を工夫する。誰もが安心して意見を言えるような、共感的・支持的な風土の醸成を続ける。					
V-3 学校は、アレルギー対応や発達障害、補充的学習などに関して、保護者と連携を図りながら個に応じた指導をしている。	49	45	5		1	36	11	5	2	0	4	10	5	0	0	・今後継続をお願いします。アンケート項目の改善も期待します。・学習効果を図る、自主性の効果を話し合う。・様々な工夫が学習や行事を通してうかがえます。スキップ職員も見学させていただけることで、子供たちへの励ましにもつながります。・学芸会で子供たちが自主的に活動する姿は本当に感動し、また行事ごとに先生方は様々な対応をしている姿を拝見させていただいたので、評価は妥当だと思っています。			A				
VI-1 学校は、児童が学習や学校行事に自主的に取り組めるように工夫している。	74	40	12		1	9	15	4	2	0	1	9	6	0	0	校内研究や特別活動などを通して、児童の学びや育ちに着眼した指導の工夫を研究した。指導の工夫により、児童が主体的に活動できるようになってきている。	A						
VI-2 学校は、学校行事ごとにアンケートを取り、学校の経営改善に生かそうとしている。	89	39	4		0	4	15	6	0	0	1	13	2	0	0				A				
VII-1 学校は、ホームページや学年便り、保護者会、Classroom、安全安心メール等で定期的に情報発信している。	80	48	7		1	0	18	4	0	0	0	12	3	0	0		A						
VII-2 学校は、社会的状況を踏まえて感染防止対策をとりながら、工夫して学習や学校行事を行っている。	79	46	8		1	2	19	2	0	0	1	13	2	0	0				A				
VIII-1 学校は、友達の思いや考えを受けとめるとともに、自分の思いや考えを伝えられる子どもを育てる指導の工夫をしている。	57	56	11		1	11	13	8	1	0	0	7	8	0	0		A						

※学校関係者による評価の評語は、自己評価結果について以下の視点で行う。 A 評価は妥当である B 評価はおおむね妥当である C 評価は妥当ではない D 評価方法を見直す必要がある